ＪＢＡ「第３４回吹奏楽指導者認定試験」問題

（実施日：令和４年１２月３０日）

第３４回「吹奏楽指導者認定試験」の問題は以下のとおりです。

（１）理論筆記試験

・１級：(別掲)

・２級：(別掲)

・３級：(別掲)

（２）編曲作品審査

次の課題曲について、参考編成表のとおりに編曲し、スコアを提出する。(但し打楽器は自由。)
スコアの作成には、コンピューター等で使用する楽譜作成ソフトを使用してもよい。

・１級：滝　廉太郎　作曲　《花》

１小節～２０小節目の頭までをト長調で編曲。編曲で参照する楽譜は、「独唱＋ピアノ伴奏」のものとする。ただし、調性は「ト長調」で、小節数は「前奏４小節＋メロディ１６小節（一番まで)」のものとする。

（参考：全音楽譜出版『日本名歌１１０曲集①』、音楽之友社『日本歌曲名曲集』等）

・２級：山田耕筰　作曲　《赤とんぼ》

１小節～１２小節目までをヘ長調で編曲。編曲で参照する楽譜は、「独唱＋ピアノ伴奏」のものとする。ただし、調性は「ヘ長調」で、小節数は「前奏４小節＋メロディ８小節」のものとする。

（参考：全音楽譜出版『日本名歌１１０曲集②』、音楽之友社『日本歌曲名曲集』等）

・編曲作品は、令和５年１月１６日（月）必着でＪＢＡ事務局宛郵送にて提出のこと。
楽譜作成ソフトを使用した場合は、プリントアウトした楽譜を郵送すること。

（３）合奏実技試験

・１級：(初見曲）スーザ作曲、March「SEMPER FIDELIS」の曲頭～４２小節第１拍目まで（リピートなし）について、１５分間で合奏指導を実施しなさい。その際、パート譜の間違い３箇所についても指摘・修正しなさい。

・２級：(初見曲）スーザ作曲、March「SEMPER FIDELIS」の曲頭～２４小節第１拍目まで（リピートなし）について、１０分間で合奏指導を実施しなさい。その際、パート譜の間違い２箇所についても指摘・修正しなさい。

※１級・２級共通：初見曲の楽譜にメモをすることは可能で、試験場に携行してください。
（終了後は返却してください。）※モデルバンド：名古屋音楽大学学生モデルバンド

（４）指揮実技試験課題

・１級：課題曲Ｒ.ジェイガー作曲「シンフォニア・ノビリッシマ」の曲頭～B第１小節第１拍目まで及びH～最後まで演奏指揮しなさい。※曲を途中で止めてはいけません。

・２級：課題曲Ｒ.ジェイガー作曲「シンフォニア・ノビリッシマ」の曲頭～B第１小節第１拍目まで及びH～Jの７小節前第１拍目までを演奏指揮しなさい。※曲を途中で止めてはいけません。

※1級・２級共通：楽譜は各自準備してください。モデルバンド：合奏実技試験に同じ。

・３級：斎藤秀雄著「指揮法教程」の「練習題№１」を演奏指揮しなさい。
※楽譜は各自準備してください。※ピアノ伴奏を指揮する。

（５）小論文

・１級：指導者の立場から任意の吹奏楽作品をあげ、それらの楽曲の音楽観について、各自テーマを自由に設定して論じなさい。字数は、４０００字（４００字詰原稿用紙換算１０枚）程度とする。

・２級及び３級：バンドの年間計画と指導方針について、あなたの考えるところを具体的なテーマを自由に設定して論じなさい。字数は、２級は１６００字（４００字詰原稿用紙換算４枚)、３級は１２００字（４００字詰原稿用紙換算３枚）程度とする。

・論文は、令和５年１月１６日（月）必着でＪＢＡ事務局宛郵送にて提出のこと。

・様式は自由。ただし、必ず用紙を用いて作成（ＰＣ等を使用した場合は必ずプリントアウト）したものを提出すること。